



シルバー美夜古

令和2年2月

VOL. 58

2020 FEBRUARY

スローガン 高齢者の生き方をプロデュースする

SILVER MIYAKO

発行：(公社)行橋市シルバー人材センター 行橋市中央一丁目10番67号 TEL 26-3355 FAX 26-3322



年頭挨拶

市民に愛され・信頼される

シルバーへの更なる向上!!

理事長 三木 義男

皆様 明けましておめでとうございます。

会員の皆さん、私達を支えてくださいます市民の皆様、行政の皆様そして、企業・施設等の皆様に輝かしい新年をお迎えする事を心からお慶びを申し上げます。と同時に、新しい年が皆様にとりまして、ご健勝でご多幸な年でありますように心からお祈り申し上げます。

新年に当たり、「人生100年時代」を迎えて、当センターは、就労を通して可能な限り、地域包括社会（地域の課題は、地域で解決する社会）の実現に向けて貢献していく所存であります。そして、「市民に愛され・信頼されるシルバー」の更なる向上に努力して参ります。

そこで、当センターの「市民に愛され・信頼されるシルバー」に向けた活動において、顕著な成果となつてきている事項を左記にてご紹介させていただきます。

1、会員が年々、増加している

平成28年度まで、会員は、毎年、減少していましたが、平成29年度以降は、毎年、会員が増加しています。つまり、毎年40名近くの会員が体力の限界等で辞めています、それを上回る方が入会しているのです。

2、HCB（ヒューマン・コミュニケーション・ビジネス）の顧客ニーズが増えている

HCBは、託児・保育・児童・介護など人に係わる事業のことですが、各関連施設や行政からの様々な仕事の依頼が増えています。そのことは、会員の人生経験を活かした仕事ぶりが、評価された証であります。

3、企業回りの新規ビジネスチャンスが増えている

世間一般として労働力不足であり、その補完として経験豊かな高齢者へのニーズが増えています。実態として、会員の企業経験で培った品質管理等を活かした働き振りが、企業への高い満足度となっております。

4、女性「小物づくりサークル（愛称：ちくちく手芸クラブ）」が創設された

当センターとして、女性会員増が急務となっていました。その状況下、機を得たように女性の小物づくりサークルが創設されました。現在、約10名の方が毎週集まり独創的な作品づくりをしています。また、販売においては、完売状況です。

5、独自事業「門松事業、シルバー農園事業」が躍進している

門松事業は、売上増傾向が続ぎ、企業・施設等からの人気商品となっております。また、シルバー農園事業も梅、じゃがいも、さつまいも、キャベツ、かぼちゃ等の収穫物において、高品質等の差別化によるシルバーブランド化も浸透しています。

最後に、私が、理事長に就任して約3年半となりますが、当センターは、「市民に愛されるシルバー」を目指して努めて参りました。今年度は、更にレベルアップし、「市民に信頼されるシルバー」向かい努力を重ねていく所存であります。そして、会員の皆さんにおかれましては、健康・安全にご留意されて、当センターの発展にご尽力を賜りますように切にお願い致しまして、新年の挨拶にかえさせていただきます。

中期計画活動方針

活動期間(2016年度～2020年度)

基本理念

自主・自立、
共働・共助

基本ビジョン

地域で支え合う共助社会により、時代に合った地域づくりを実現して、住み易いまちづくりに貢献する

基本コンセプト

高齢者が、生涯現役を目指して、ワクワク感で日々の生活をする

スローガン

高齢者の生き方を
プロデュースする!!

「高齢者就労の意義・必要性」を実践現場から再認識！

行橋市シルバー人材センター 理事長 三木 義男

行橋市シルバー人材センターの主な事業目的は高齢者就労であり、地域包括社会（地域の課題は、地域で解決する社会）の実現に向けた役割をもっています。

私は、「現場主義」に基づいて実践現場の視察から「高齢者就労の意義・必要性」を再認識する機会が多々ありました。ここに、その事例を紹介することで高齢者の就労意欲の向上に繋がれば、この上なく幸いに存じます。

事例1 “働かずに家にいたら老け込んでしまう！”

男性会員が、「妻から歳だからシルバーの仕事を辞めたら」と言われる。しかし、会員の方は、「シルバーを辞めて家にいたら仲間との会話もなくなり、体を動かすこともないので、精神的、肉体的にも老け込んで、気力がなくなってしまう」と反論している。

【再認識】「社会参加」することで、職場仲間との一体感、コミュニケーションをとることが、“心身の元気の源”になるのです。

事例2 “お金が入ることが嬉しい！”

高齢者生活援助をしている女性の会員から「この歳で働き、お金が入ってくることが嬉しいです」と聞きました。

【再認識】今の日本社会は、労働力不足状態ですので、高齢者の働く職種も多くありますので、「生涯現役」を意識すれば、働く機会は幾らでもあります。

事例3 “働きながら健康を維持することができる！”

男性会員が「駐車場清掃をしながら歩くことで、健康を維持でき一挙両得ですね」と聞きました。

【再認識】仕事は、日時が決められているので、継続した運動となる。一般論で、高齢者の働いている人と働いていない人では、病院にかかる率が前者は後者の58%と言われており、「健康寿命」を延ばすことにもなります。

（おわり）

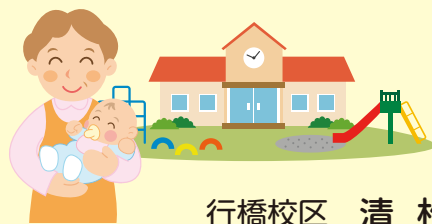


延永校区 江 藤 健 治

私は、現在JA福岡京築の文書メール集配業務の班長として就業しています。

JA文書メール班は自動車運転に慎重な下畑・木村・森川・一安さんと私 江藤の5名で1ヶ月間の運転業務を交代シフトで行っています。

業務は、JA福岡京築の本店・事業所間における業務文章等の受渡しをJAの自動車で行なう為、就業者は交通ルールを遵守し、安全運転に努める様、体調管理に気をつけて日々の生活を送っています。



行橋校区 清 松 弘 恵

昨年の春、友人と一緒にいったシルバーで思わず入会。初仕事はパンフ折り。

男女各10名程。年齢も様々で、おしゃべりしながら楽しく仕事した5日間。

その後、会社の清掃業務を経て、現在は主に保育園の清掃、託児の仕事をしています。

1日2時間なので、疲れもなく、ここで初めて会った会員の方と2人1組で、話し合いながら、仕事をしています。適度な運動で以前より健康になりました。それに何よりも子供たちの声を聞き、笑顔が見れて労働なのに幸せな気持ちにさせてもらっています。

ウォーキングセミナー

元宝塚の穂高ゆうさんを講師に招いて、「いつまでも若々しく！すぐにできる美しい姿勢とウォーキング」をテーマに行いました。



「高齢者の生き方」シンポジウム

「自己流の生きぬく術」をテーマに5人のパネラーを招きパネルディスカッションを行いました。



活動状況

ボランティア活動

10月のシルバー普及促進啓発月間にあわせて、道路沿いのゴミ拾いを行いました。



シルバークフェスタ北九州

小倉駅で近隣のセンターが集いシルバー事業のPRを行いました。当センターは手づくりの小物と野菜を販売しました。



安全祈願祭

今年1年の無事故を願って安全委員と事務局で正八幡宮に行ってきました。



独自事業活動

門松製作 シルバー農園



HCB(ヒューマン コミュニケーション ビジネス)とは、人(幼児・児童・高齢者・障がい者など)に関わる仕事の総称です。女性・ホワイトカラー退職者の就労職域として積極的に新規開拓を進めています。



No.	業 種	サービス対象者	業 務 内 容	就業人員 (内)女性	
1	高齢者生活援助	高齢者	家庭内清掃、買物等の支援	7	7
2	家事援助	一般、高齢者	家庭内清掃	14	14
3	児童クラブ	児童	小学校の学童保育	20	3
4	支援学校添乗業務	障がい者(児童)	障がい学校の送迎バス添乗	8	0
5	保育園補助	幼児	清掃、託児、調理	10	10
6	デイサービス	高齢者	送迎、見守りなど	3	1
(纏め)6業種、就業人数(62人)、女性比率(51.6%)				合計	62人 35人

ちくちく手芸クラブ

古着を利用してティッシュケースやお手玉など会員の創意工夫で製作しています。



カラオケ大会

会員と地域住民の交流もかねてカラオケ大会を開催。皆さん日頃鍛えた自慢ののどを披露していました。



シルバーの魅力

ここが“楽しい”

門松事業慰労会

門松の製作に携わった会員がお互いの苦労をねぎらい、慰労会をおこないました。



事務局からのお知らせ

新職員紹介

昨年11月、センター経理職員が1名増えました。
名前は、**大水 道代**さんです。
皆さんよろしくお願いします！

令和2年度 会費の徴収について

次年度の会費の徴収を2月から始めます。早めに納めてくださるようお願いいたします。

今後の行事予定

- ・校区别交流会 (3月下旬)
- ・年次安全決起大会 (4月3日)
- ・市民剪定講習会 (4月上旬)
- ・令和2年度定時総会 (5月下旬)

シルバーへの新しい会員&お仕事の依頼をお待ちしています！



謹賀新年

監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	理事長	
事務局職員一同	永井 崇敬	上村 豊	長畑 正日	滝本 浄	山口 孝之	中野 廣見	丹村 幸司	中野 哲子	梅田 正規	村上 博一	進谷 稔	田嶋 澄夫	木野 雅博	山田 明博	岡 静夫	三木 義男

編集後記

2020年のこの年はこれまでを振り返りつつ今後の道を計画するのによい年だそうです。計画はすぐに芽が出るわけではありませんが、5年後、10年後に振り返ったときに、2020年がその出発の年になっていたと思えるような年になるといいですね。そして東京オリンピックも楽しみましょう。

山田明博